

令和元年度 第1回 磐田市遠江国分寺跡整備委員会議事要録

報告者 室内 美香

1. 開催日時 令和元年 11 月 19 日(火) 15:30～17:00
2. 開催場所 磐田市中泉交流センター 2階 第3会議室
3. 出席者
 - (1) 整備委員：上原真人委員長、箱崎和久委員、中島義晴委員、平野吾郎委員
(石上委員は欠席)
鈴木喜文委員、小池和広委員、澤元教哲委員、小杉達委員、星野勝彦委員、
林浩巳委員
 - (2) 助 言：静岡県文化・観光部文化局文化財課 文化財保護調査班 主査 田村隆太郎
 - (3) 磐 田 市：村松啓至教育委員会教育長
 - (4) 事 務 局：市川教育部長、高梨課長、竹内主幹、室内主査、大村副主任、安藤囑託
 - (5) 実施設計委託業者：(株)フジヤマ：渥美、中村、鈴木(加)、前島
 - (6) 傍聴者：なし

4. 会議要旨

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 磐田市教育長あいさつ
- (4) 整備委員および事務局紹介
- (5) 静岡県文化・観光部文化課あいさつ
- (6) 整備委員会委員長・副委員長選出（委員長に上原真人委員、副委員長に平野吾郎委員）
- (7) 整備委員会委員長・副委員長あいさつ
- (8) 議事

[1] 令和元年度の遠江国分寺跡整備事業について（事務局説明、資料1）

- ・再整備の実施設計（講堂・僧房周辺）、指定地内の国有地の取得、追加指定、文化庁との協議、社会科副読本（『遠江国分寺』）の配布、国分寺まつり（11月）への参加などについて説明した。

委員 整備事業の全体のビジョンを示してほしい。何年後はこうなるというような。自分たち自治会代表は、ビジョンを示してもらえれば、地元で説明ができる。

事務局 本来、令和2年度から僧房・講堂の基壇復元工事をスタートする予定だったが、指定地内にある国有地を財務省から取得する手続中であるが、今の時期になっても財務所から無償譲渡手続きが終わるのかの返事がいただけていなくて、困っている。このために、工事を一年遅らせた。令和3年度に本格的な工事がスタートできればと考えている。

大枠としては、史跡公園を北側、中央部、南側と3分割、3ケ年で整備する、最終年度にトイレの整備をし4年計画で予定している。そのスタートが1年ずれたことになる。

委員 大まかなことでも市民の皆さんにお知らせしてほしい。国分寺整備が始まるということで、府八幡宮へ渡る横断歩道を、自治会要望で設置してもらった。地元も期待している。

事務局 市民の皆さんに整備事業を理解してもらい情報発信をもっとできるよう、内部で検討する。

[2] 整備内容について（事務局説明、資料2～4）

基壇復元整備の材質について

<質疑応答、意見>

事務局 木装基壇の材質は大部分がヒノキである。今回検討事項として、復元する際、①本物のヒノキを使う、②ヒノキに腐りにくい薬剤を含侵させ、耐用年数に期待が持てるエコアコールウッドという素材を使う、③ヒノキのかわりにスギのエコアコールウッドを使う、④コンクリート擬木を使う、という案を考えている。

委員 木装基壇復元整備の材質に、ガラスコートという材質も調べてもらえないか。浅草寺で使っている。最近できたものだ。見た目も全く木である。

事務局 調査します。

委員 この場でどの材料にしようかと結論はだせない。ガラスコートも調べる必要がある、全体のコストのこともある。実際の木を使って木装基壇を復元整備した事例はあるものの、多くの実績があるわけでない。しかも、耐用年数が何年もったかというのが、よくわかっていない。見た目の問題もある。

委員 お金の問題でなく、誰が見ても国分寺という歴史ある場所とわかるような整備をするのであれば、その目線で材料も選んでいかなきゃいけない。

委員 擬木は見た目が、、

委員 今後材料の検討を進めていく上では、その素材を使った整備事例や実例が少なくとも、劣化具合や効果や実際の施工状況を確認したほうがよい。

事務局 今回は、コンクリート擬木の単価が急に変わり事務局で対応しきれなかったため、事務局の方向性をお示しできなかった。施工方法、メンテナンス、イニシャルコスト、ランニングコスト含め、次回委員会では、事務局としての方向性を示せるようにする。

委員 地元の中泉と見付では、県知事に意見書を出している中で、遠江国分寺跡を観光の目玉と考えている。国分寺跡を見学した人が見付の宿場を歩くというように、国分寺跡を憩いの場だけでない活用も考えている。このことも考えてほしい。

施設整備（舗装、階段、車止め、ベンチ、花壇、植栽）について

<質疑応答、意見>

委員 一つ一つをどれにしようか、というのは話をしにくい。事務局としての方針を示してもらえれば。

委員 実施設計対象地である、史跡内の北方のところだけを考えているが、これが全体におよんだときに、矛盾しない形になるか考えること。少なくとも、舗装と草張については全体がこれでいけるのか、と確認すること。

委員 事務局案を具体的に出したほうがよい。全体を見渡した上で。

委員 舗装の色をどうするかということも全体をみて考えること。

委員 磐田の焼却場の最後に出る熔融スラグの行き場が、課題になっている。環境部ではこの対処方法が考える時、整備事業で使えるかもしれない、庁内で議論してほしい。

[3] 特別史跡の追加指定及び国有地の事項取得について（事務局説明、資料5）

- ・民有地と市有地の計3カ所を追加指定の手続き中である。民有地については来年度と再来年かけて買い上げ予定である。国有地（畦畔）の時効取得について、今年度4月に財務省東海財務局に磐田市へ譲渡していただくよう手続き中である。当初3ヶ月程度ときいていたが、いまだ譲渡に至っていない。

[4] その他

委員 磐田停車場線で電柱地中化を中泉・見付の両自治会で考えており、申請をしていく。見付の宿場入り口までを考えている。天平通りに電柱がなくなるように、要望をしていこうと考えている。

(9) 閉会